

<社会教育>

「すぐに使えるアイスブレイク・レクリエーションを学ぼう」

小学校、中学校、人権啓発センター、児童館、公民館、市町村教育委員会より参加がありました。

日時：平成29年1月6日（金）
場所：鳥取県東部庁舎 講堂

【ねらい】

学校や地域における児童生徒や地域住民の仲間づくり、保護者会をはじめ様々な集会ででのよりよい雰囲気づくりに役立つアイスブレイクやレクリエーションの手法を学び、参加者のスキルアップを図るとともに、年度末や来年度に向けて現場での取組に役立てる。



魂の握手：合図で1～3のうち、自分の決めた数だけギュッと握る。相手と数が一致したら「イエーイ」と言いながらハイタッチ。



惑星旅行：合図で惑星（フラフープ）に移動する。どんどん惑星を減らしていく。



みんなでジャンプ：指導者の指示に合わせ、タイミングを合わせて跳ぶ。



パイプライン：筒を半分に割ったパイプをつないで、ボールを落とさずにバケツまで運ぶ。難易度は高いが、成功すると達成感や一体感に包まれる。



講義：実施する上でのポイントなどを具体的に学ぶ。

【参加者の感想】

- 初めて会った人同士でも笑いあい、老若男女を問わず楽しめる内容でよかったです。
- 単純なルールで一生懸命になれるゲームがたくさんありました。いくつかのゲームを組み合わせて行うこともでき、時間設定も考えやすかったです。また、様々な人数に応じたゲームを学ぶことができました。
- 実際にゲームを体験しながら学ぶことができ、先生の表情、話の仕方、間、対処の仕方など、全て参考になりました。
- 指導のポイントとして、「参加者に目標を示すことも大切なことの一つであること」、「参加者の心の壁を下げることをいつも意識して指導すること」という点が参考になりました。
- 学校でもたくさん使いたいと思います。3学期に実践したいと思います。
- 地域住民の皆さんの親睦を深めるために、取り入れていきたいです。